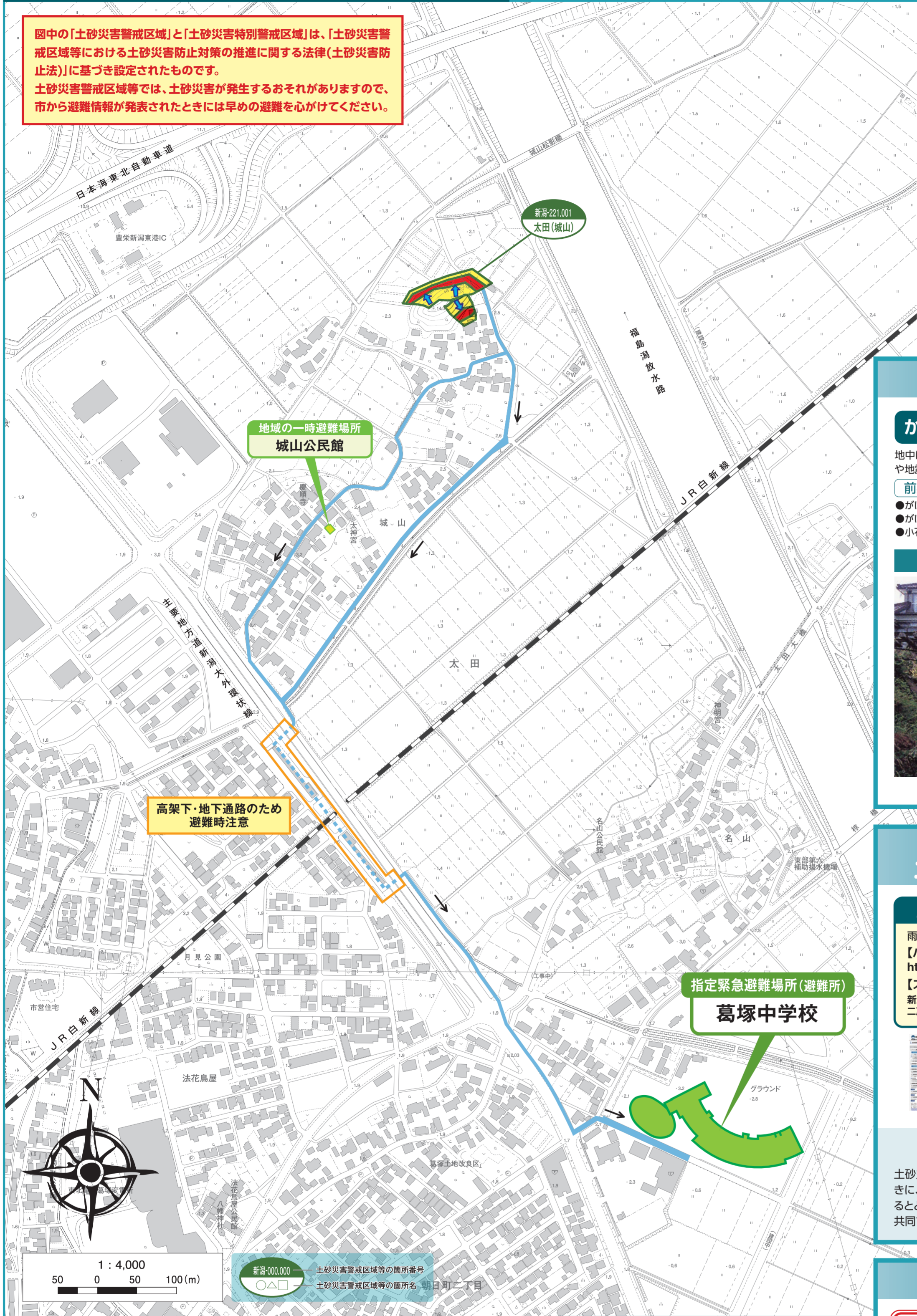


図中の「土砂災害警戒区域」と「土砂災害特別警戒区域」は、「土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律(土砂災害防止法)」に基づき設定されたものです。  
土砂災害警戒区域等では、土砂災害が発生するおそれがありますので、市から避難情報が発表されたときには早めの避難を心がけてください。



### 凡例

土砂災害特別警戒区域(急傾斜地の崩壊)	
土砂災害警戒区域(急傾斜地の崩壊)	
指定緊急避難場所(避難所)	
地域の一時避難場所	
避難路	
土砂のおおよその移動方向	

## 土砂災害とは

### がけ崩れ(急傾斜地の崩壊)

地中にしみこんだ水分が土の抵抗力を弱め、雨や地震などの影響によって斜面が崩れ落ちる。

#### 前兆現象

- がけからの水がにごる
- がけに亀裂が入る
- 小石がぼらぼら落ちてくる



平成10年8月4日の大雨による「がけ崩れ」の様子



市内の市街地で集中豪雨によりがけ崩れが発生したものです。

## 新潟県ホームページでの土砂災害に関する情報提供

### 土砂災害警戒情報システムのホームページ

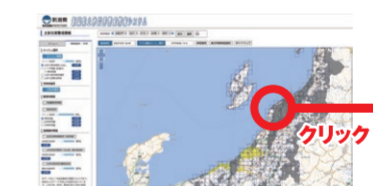
雨量に関する情報や土砂災害発生危険度などを見る事が出来ます。

【パソコン】

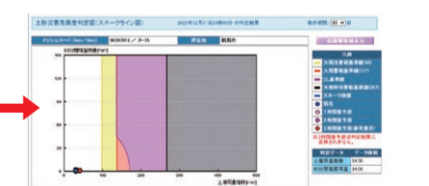
<http://doboku-bousai.pref.niigata.jp/sabou/index.html>

【スマートフォン】

新潟県公式アプリ「新潟県防災ナビ」による確認を推奨します。二次元コードから新潟県防災ナビのホームページへアクセスできます。



【土砂災害危険度メッシュ図】



【土砂災害危険度判定図(スネークライン図)】

### ～土砂災害警戒情報とは～

土砂災害警戒情報は、大雨による土砂災害発生危険性が高まったときに、市町村長が住民へ避難指示勧告等を適切に行えるように支援するとともに、住民自らの避難判断にも参考となるよう新潟県と気象庁が共同で発表する情報です。

## 緊急時の連絡先

我が家の避難場所:  
電話番号:

緊急時連絡先	電話番号

### 避難時のメモ

【この土砂災害ハザードマップに関するお問い合わせ先】  
新潟市北区役所地域総務課 TEL.025-387-1115

## 避難情報の種類ととるべき行動

避難に関する情報は、状況の危険度に応じて発表されます。土砂災害から命を守るために避難情報に注意しましょう。

避難情報等	居住者等とるべき行動
<b>警戒レベル5 緊急安全確保</b> 発令される状況：災害発生又は切迫(必ず発令される情報ではない)	命の危険 直ちに安全確保! ・危険な場所から安全な場所へ立ち退き避難することがかえって危険な場合、緊急安全確保する。
<b>警戒レベル4 避難指示</b> 発令される状況：災害のおそれ高い	危険な場所から全員避難 ・危険な場所から全員避難(立ち退き避難又は屋内安全確保)する。
<b>警戒レベル3 高齢者等避難</b> 発令される状況：災害のおそれあり	危険な場所から高齢者等は避難 ・高齢者等*は危険な場所から避難(立ち退き避難又は屋内安全確保)する。 *避難を完了させるのに時間を要する在宅又は施設利用者の高齢者及び障害のある人等、及びその人の避難を支援する者

※立ち退き避難とは、指定緊急避難場所や近隣の安全な場所へ移動する避難行動のことです。「立ち退き避難」は、指定緊急避難場所へ移動することが原則です。指定緊急避難場所へ移動することがかえって危険な場合は、近隣のより安全な場所や、より安全な建物等へ避難してください。さらに、外出すること危険な場合には、屋内でもより安全な場所(がけから離れた部屋や2階など)へ移動してください。

- 指定緊急避難場所とは** 切迫した災害の危険から命を守るために避難する場所として、あらかじめ市が指定した施設や場所です。
- 避難所とは** 土砂災害や地震等の災害により住居の倒壊、焼失などで住居を失った住民等を受け入れ、保護するため、被災者が一定期間滞在する場所として、あらかじめ市が指定した施設です。
- 地域の一時避難場所とは** 地域の住民が一時的な避難のために設定した避難場所です。

## 避難情報の入手方法

市では、以下の方法で避難情報を発信しています。自分に合った方法で、自ら進んで情報を入手しましょう。

- 緊急速報メール(携帯電話各社)
- にいがた防災メール
- テレビデータ放送
- 緊急告知FMラジオ
- 新潟市ホームページ 防災・災害
- X(エックス) (新潟市危機管理防災局 @niigatacity\_kib)
- 新潟市 LINE 公式アカウント
- 各種報道機関(テレビ・ラジオなど)
- 広報車

自らの身を守るために「日頃からの備え」と「早めの避難」を心がけましょう。土砂災害の前兆現象を発見したら、避難するとともに区役所などに連絡してください。